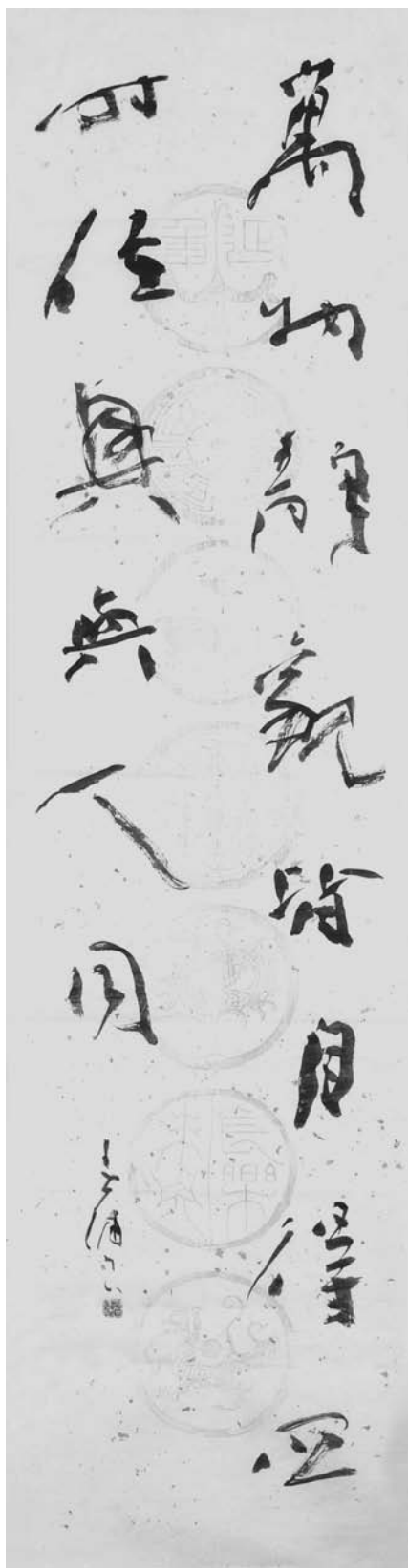


条幅部自由参考

2月25日正午必着

明石春浦先生書



ばんぶつ^{ばんぶつ}のせい^{せい}かん^{かん}みな^{みな}じ^じとく^{とく}
 萬物靜觀皆自得。し^しじ^じのか^かき^きよ^よつ^つひ^ひと^とお^おな^なじ^じ
 四時佳興與人同(程子) 四時は春夏秋冬。

西 墨濤先生書



黄心谷之句

せい^{せい}こう^{こう}よ^よと^とへ^へん^んた^たる^る
 清香與世隔。庭。□ □。

清香與世隔(黄庭堅)

清らかな香りが、俗世から離れさせる。

蝶黄華紫燕相追
 楊低柳合路塵飛
 倭柳合路塵飛

窪田華岳先生書

蝶黄華紫燕相追 楊低柳合路塵飛 (簡文帝)

蝶は黄色 花は紫色 燕が追いかけて飛び
 やなぎは低く垂れて枝をからませ 路上の砂塵が舞い上がる

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

鳥歌花舞 (歐陽修)

鳥歌花舞

花の下には人が酔っている。

千林映レ日鶯亂啼
 萬樹圍レ春燕雙飛 (唐寅)

千林日に映い鶯乱れ啼き
 萬樹春を囲み燕双飛す

林の木々は日に映え春景色となり、ここかしこに鶯なき燕
 はつれだつて飛んでいる。

漂母墓

(劉長卿)

漂母の墓 劉長卿

昔賢懐一飯 茲事已千秋
 古墓樵人識 前朝楚水流
 渚蘋行客薦 山木杜鵑愁
 春草年年綠 王孫舊此游

昔賢一飯を懐う 茲の事 已に千秋
 古墓 樵人識り 前朝 楚水流る
 渚蘋 行客薦め 山木 杜鵑愁う
 春草 年年緑なり 王孫 旧此に遊ぶ

わが庭の竹の林の浅けれど 降る雨みれば 春は來にけり (若山 牧水)

半紙部規定課題A

2月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

2月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送王牧往吉州 李嘉祐

調中史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔上に調するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

條幅部半紙部臨書課題



王公之材也。小用使在位、則社稷之臣也。雖巖居穴處、而王侯不能與爭名何也。仁義之化存爾。如使王者聽其言



信其行、則唐虞之法可得而觀、頌聲可得而聽。詩曰、先民有言、詢于芻蕘。取謀之博也。蔭方夫子大人誨正。胡澍書呈。



則ち唐虞の法得て観る可く、頌声得て（聴く）可し。



(王) 者をして其の言を聴き

清 胡澍・篆書 文語四屏 (その三・四)

胡澍は清朝の道光五年（一八二五）安徽省績溪に生まれ、同治十一年（一八七二）到北京で病死した。字は菱甫、甘伯・丹伯・石生などと号した。

彼の家柄は古くから進士を出しており、彼も幼い頃から学問に励み、挙人の資格を得たが、進士には及第できなかった。

金石を好み、篆刻に長じ、篆書に巧であったといわれ、趙之謙と終生親交があった。趙之謙をして「胡澍がいる間は、私は敢えて篆書を作らない」と言わしめたほどの彼の作品は、享年四十八歳という若さであったためか、残ったものが少ない。

この文語四屏は百六十五字を悠然と少しの乱れも見せずまとめあげられている。重くねばる送筆、それでいて長脚で麗艶な篆書のみしさを味わいたい。

(春濤)



雨宮春聲先生書

のう
能

がく
楽

中学一年



菅井松雲先生書

すみ
墨

え
絵

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



どう

とく

小学五年

藤井良泰先生書



えい

よう

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



りつ しょう
立 春

小学三年

細谷春誠先生書



こく おう
国 王

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い ぬ 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

やま がわ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

く進むラッセル車	深い雪の線路を力強
----------	-----------

小学五年

く日本アルプスの景色	白い山なみが雄大に続
------------	------------

小学六年

は南極の作り出す芸術	白い氷と神秘のオーロラ
------------	-------------

中学

ずかに粉雪が舞う	冬枯れの街路樹にし
----------	-----------

一般(級位)

ひきつらにも輝くも鶯鳴くも	そらもりまきくもあ
---------------	-----------

一般(段位)

冬こもり 春さり米らしあしひきの山にも野にも鶯鳴くも (作者未詳)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ふ	し
っ	ろ
て	い
き	ゆ
ま	き
し	が
た	

幼年

に	ふ
つ	ゆ
つ	の
ま	山
れ	は
た	ゆ
	き

小学一年

が	つ
て	め
雪	た
と	い
な	雨
つ	は
た	や

小学二年

か	雪
こ	と
ま	こ
れ	お
た	り
世	に
界	

小学三年

氷	か
の	わ
上	い
で	い
楽	し
し	く
遊	び
ぶ	が

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



この間もる 月のかげとも みゆるかな はだらにふれる 庭のしら雪 (西行)

類 乃可希登母 三遊可那 者多

※はだらに：あわ雪のボタボタと降り積もるさま

岩本景楓先生書